

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	流山本町見世蔵プロジェクト事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	流山本町・利根運河ツーリズム推進課			
施策	5-5	特色ある観光の育成と創設		主管課長	井戸 一郎			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民、観光客	意図	歴史的建造物を活用したギャラリーや市民交流の場を創設し、交流人口の増加及び地域の活性化を図る。
事業内容	流山本町地域の交流人口の増加のために、流山本町の歴史的建造物を賃借し、観光情報発信拠点として、世界的に活躍する万華鏡作家等の作品を展示販売、物産品販売及び各種イベントなどを実施している。 店舗名：万華鏡ギャラリー寺田園茶舗見世蔵			
事業開始から現在までの状況変化	平成22年度に事業開始後、各種イベントなどを積極的に展開するとともに、テレビ・ラジオなどのマスコミに取り上げられるなど、広報宣伝活動も積極的に行った結果、来館者数を順調に伸ばした。また、観光拠点として地域の活性化に寄与している。当初は、「ふるさと雇用再生特別基金」を活用し事業を実施。平成24年度より市の事業として業務委託をしている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	見世蔵来館者数	12,065	11,721	11,040	人	↑↑↑	実績
②	流山本町来訪者数	217,183	228,371	274,984	人	↑↑↑	実績	
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果		見世蔵来館者数は減少傾向にあるが、万華鏡の商品売上は年々伸びている。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 事業開始から平成26年度までは、目新しさもあり、順調に来館者が伸びていたが、平成27年度以降下落傾向で推移している。		
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		6,687,900	7,414,300	7,395,940				
事業費(b)(円)		5,143,000	5,900,000	5,900,040				
うち一般財源		5,143,000	5,900,000	5,900,040				
職員給与と費(c)(円)		1,544,900	1,514,300	1,495,900				
人役・職員(人)		0.20	0.20	0.20				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)		0.10	0.10	0.10				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	地域との連携強化	③取組における課題(Check)	<ul style="list-style-type: none"> リピーターの確保 市内の若い世代の来館 事業内容のマンネリ化
②H30に実施した取組(Do)	本町周辺の店舗情報やイベント紹介を行い、地域活性化に努めた。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	<ul style="list-style-type: none"> 季節ごとに万華鏡の企画展を実施 子ども向け講座や親子講座を実施